

週刊 議会報告

日本共産党市議会議員団

発行
日本共産党市議会
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

まずは病院へ行くときの橋代金補助を！

—福祉環境委員会で岡野長寿市議が質疑—

6月28日の福祉環境委員会では、岡野長寿市議が質疑を行いました。その内容を紹介します。

しまなみ海道料金の市独自支援策について

「福祉施策の拡充も検討」とは？

岡野長寿市議は、平谷市長が所信表明で述べた「しまなみ海道料金の市独自支援策について、福祉施策の拡充も検討」とあるが、拡充の中身は何かと質しました。その際、資料①にある現在の制度は極めて限定的であることを明らかにし、島では外科の手術ができなくなっていること、夜間救急も廃止されたことなどを指摘し、福祉制度として、入院の場合の本人の交通費負担だけでなく、付き添いや洗濯物などを届ける家族の者などの交通費負担も考慮する必要があること、介護施設などへの入所・通所、介助者の支援のための交通費補助なども含め幅広い制度とすることを求めました。理事者は具体的な制度設計については明言せず、今後検討すると述べるにとどまっています。

高齢者優待乗車証のタクシー券

1万円の選択ができるように

同市議はバス路線の改善や乗り合いタクシー制度の創設が必要であることを指摘しつつ、優待証の改善には1円も予算がかからないのにな

ぜ実施ができないのか。担当部署を考えると述べ、国保料や介護保険料の市民負担分（保険料）の軽減に乗り出すべきだと、基金の活用を求めました。資料②は、介護保険の基金残高。

〔岡野市議の質問項目〕

- ・物価高騰対策
電気代補助も必要。市民全員を対象とした支援はないのか？
- ・橋代補助
外科、夜間救急のときの補助も具体化する時期でしょう。
- ・国保料は国民皆保険めざす制度の中核でしょうか？なぜ高いまま放っておくのか？
- ・徴収した介護保険料をこんなに余らせて平気なの？
- ・高齢者優待乗車証の不公平感をなくせ。全地域でタクシー券1万円選択を可能にせよ。
- ・化学物質過敏症の方への配慮について
- ・騒音・振動対策について

国保料や介護保険料の軽減は

有効な物価高騰対策

同市議は、国の物価対策交付金を使って低所得者への給付金や介護事業所、障害者事業所、保育事業者などへの支援を行っている中身を確認、市が独自財源をそれぞれ5%程度加えたことを評価しました。また、世羅町が全町民を対象に支援金

党市議団提出の県と県議会へ求めた 「子どもの医療費助成の拡充を求める意見書」 全会一致で採択に

市議会最終日の4日の本会議では、意見書(案)の採決が行われました。共産党市議団が提出していた「子どもの医療費助成の拡充を求める意見書」が全会一致で採択され、広島県及び広島県議会に送付されることになりました。意見書では、尾道市などのように高校卒業まで実施しているところや、小学校卒業までと違いがあるものの、すべての市が県の小学校入学前までを上回って実施していること。広島県は国へは要請をしているものの、小学校入学前までに対象を拡大してから、実に18年間も据え置いたまま、制度の拡大や充実をおこ

安部3文書の閣議決定の撤回などを求める意見書(案)は上程されず

6月議会に提出していたもう一つの安部3文書の閣議決定の撤回などを求める意見書(案)は、議会運営委員会が過半数とならなかったため、廃案となりました。

(資料①) これまで実施されているしまなみ海道交通費補助制度

- ・じん臓機能障害者通院費助成事業
令和4年度実績 1,474,320円
- ・障害児通所交通費助成事業
令和4年度実績 1,572,030円
- ・妊婦検診等交通費助成
令和4年度実績 700,000円

(資料②) 介護保険の基金残高

平成25年度	3億1700万円
平成28年度	5億9100万円
令和元年度	11億7000万円
令和4年度	16億200万円